

2021年3月19日

各位

会社名 ミナトホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
(コード：6862、東証 JASDAQ)
問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
(TEL 03-5847-2030)
<https://www.minato.co.jp/>

**保有する株式会社パイオニア・ソフトA種優先株式の普通株式への転換及び
連結子会社化に関するお知らせ**

当社は、本日開催の取締役会において、当社で保有する株式会社パイオニア・ソフト（以下、「パイオニア・ソフト」といいます。）A種優先株式の全てについて、パイオニア・ソフト普通株式へ転換すること、及び当該手続完了後にパイオニア・ソフトを連結子会社化することにつきまして決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結子会社化の理由

当社グループは、メモリーモジュール等の設計・製造・販売事業や、テレワーク等で利用されるビデオ会議システム関連機器の販売・保守事業のほか、IT技術者派遣やシステム受託開発等のシステム開発関連事業等、多様な事業を展開しております。

一方、パイオニア・ソフトは、福岡、東京、ベトナムを拠点として、システム構築やソフトウェア開発等を行うソリューションサービス企業です。大手システム・インテグレーターや大手証券系グループとの長期かつ強固な取引基盤や業務アプリケーション開発に強みを持ち、主業務としてERPパッケージのカスタマイズ、金融システムなどの受託開発、システム開発・保守現場へのIT技術者派遣等を手掛けております。

当社と、当社グループでシステム開発事業を手掛ける株式会社イーアイティー（以下、「EIT」といいます。）及びパイオニア・ソフトは、2020年8月5日付の「株式会社パイオニア・ソフトとの資本業務提携に関するお知らせ」にて公表しておりますとおり資本業務提携を開始し、当社がパイオニア・ソフトの優先株式を取得したほか、当社からの役員の派遣、営業協力やオフィスシェアによる経営資源の合理化等、業務全般における協業強化を図っております。

このたび、当社は、EITとパイオニア・ソフト両社がより強固な関係を構築し、当社グループと連携して更なる事業シナジー創出に取り組む必要があると判断し、パイオニア・ソフトを連結子会社化することを決定いたしました。

2. 連結子会社化の方法

当社が保有しておりますパイオニア・ソフト A種優先株式は議決権を有しませんが、パイオニア・ソフトの普通株式を対価とする取得請求権が付されております。当社は当該請求権を行使することで、本年4月30日にパイオニア・ソフトの普通株式160,000株を取得いたします。これにより、当社の議決権比率は74.4%となるため、同日付でパイオニア・ソフトを連結子会社といたします。

なお、当社は本件とは別に、本年4月30日までにパイオニア・ソフトの個人株主より普通株式3,750株を譲り受ける予定であり、これを合わせると当社の保有株式数は163,750株、議決権比率は76.2%となる見込みです。

3. 連結子会社化する会社（パイオニア・ソフト）の概要

(1)	名 称	株式会社パイオニア・ソフト	
(2)	所 在 地	福岡県福岡市南区清水四丁目22番16号	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 若山 健彦 代表取締役社長 森永 洋昭	
(4)	事 業 内 容	コンピュータシステム・コンピュータソフトウェアの企画、設計、開発、販売、保守、顧客へのサポート業務、技術者の派遣	
(5)	資 本 金	101百万円	
(6)	設 立 年 月 日	1976年10月9日	
(7)	大株主及び持株比率	(普通株式) (持株比率) 森永 洋昭 38.4% 森永 早紀子 20.2% (A種優先株式) 当 社 100% ※A種優先株式には普通株式を対価とする取得請求権が付されております。	
(8)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	当該会社には、当社がA種優先株式（議決権なし）100%を出資しております。
		人的関係	当社取締役及び監査役4名が、当該会社の役員（取締役及び監査役）を兼務しております。
		取引関係	記載すべき重要な取引はありません。なお、当社及びEITは当該会社との間で資本業務提携契約を締結しております。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	2019年1月期	2020年1月期	2021年1月期
純資産	118,534千円	47,740千円	120,716千円
総資産	631,338千円	624,640千円	529,531千円
1株当たり純資産	2,155円	868円	2,194円
売上高	1,764,813千円	1,624,054千円	1,530,471千円
営業利益	16,381千円	△93,811千円	13,030千円
経常利益	22,491千円	△62,484千円	23,471千円
当期純利益または 当期純損失	21,839千円	△70,793千円	△7,024千円
1株当たり当期純利益	397円	△1,287円	△127円
1株当たり配当金	－円	－円	－円

4. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	普通株式 0株 A種優先株式 160,000株 (議決権の数：0個、所有割合：0%)
(2) 取得株式数	普通株式 160,000株 ※全優先株式を普通株式へ転換(議決権の数：160,000個)
(3) 異動後の所有株式数	普通株式 160,000株 (議決権の数：160,000個、所有割合：74.4%)

※なお、前述の「2. 連結子会社化の方法」に記載のとおり、本年4月末日の当社の所有株式数は普通株式163,750株、議決権の数は163,750個、所有割合は76.2%になる見込みです。

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2021年3月19日
(2) A種優先株式転換日 (連結子会社化)	2021年4月30日(予定)

6. 今後の見通し

本件を上記のとおり実施した場合、パイオニア・ソフトは2022年3月期より当社連結子会社となります。したがって、本件が当社の当期連結業績に与える影響はありません。

来期につきましては、パイオニア・ソフトが当社の連結子会社となることで当社の連結経営成績へプラスに寄与すると見込んでおります。この影響を含む2022年3月期連結業績予想は、2021年5月に開示予定の2021年3月期決算短信にて発表する予定です。

以上